

14のテーマで環境出前授業を実施!



枚方なぎさ高校1年生全クラスを対象に

環境教育サポート部会は12月7日、枚方なぎさ高校で、1年生7クラス全員(280人)を対象に環境出前授業を実施しました。

今回は、団体会員や公共交通部会、まちづくり部会、枚方市の協力を得て、14のテーマを扱うという一大出前授業となりました。

原爆体験談や省エネ活動、交通双六、風呂敷利用、里山保全、生活排水学習など…。環境について、様々な角度からの知識や情報を得ることができ、生徒の環境問題への関心も高まったように感じます。

(2ページに関連記事)

目次

枚方なぎさ高校環境出前授業	2
バスイベント・第2回理事会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
まちづくり部会紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(エコスマイルひらかた)	8

環境教育サポート部会 枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施

NW会議会員・部会、行政の協力で14テーマでの授業を実現

環境教育サポート部会では、これまでも枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施してきましたが、今回はネットワーク会議の他部会との連携を図ることや授業内容を多様にするなどを目的に、14テーマでの環境出前授業の実施を実現しました。1年生全員を14のグループに分け、1グループにつき1テーマの授業を行います。様々な実習を織り交ぜた内容に、生徒達も興味深く聞き入っていました。



【テーマ9】
自転車の定期点検方法を教わる学生

【テーマ7】
IT技術を使った、良質な環境の創出（デザイン）について学ぶ



ひらかた環境くらわんか塾開講

今年で2期目を迎えた、平成18年度『ひらかた環境くらわんか塾』講座は、10月28日の第1回を皮切りに座学の他、市内の環境施設見学を含んだ内容で第5回まで終えました。「環境教育サポーター」を目指す12人の受講生は、枚方市が平成18年度から始めた学校版環境マネジメントシステム（S-E-M-S）の審査に向けて様々なスキルを身につけており、応用編では実際に審査に同行する予定です。2月3日の最終回（第8回）は「エコフォーラム2007」と同時開催です。参加自由ですので、ぜひ見学にお越し下さい。



市内見学で、関西リサーチシステムズ（株）を訪問

	テーマ	講師名（所属等）
1	親子3代の身近な生活を比較し、これからのあり方を学び合う	石川 忠義（環境教育サポート部会）
2	便利で豊かな生活を支える環境とこれから	中野 正秀（環境教育サポート部会）
3	昔の暮らし - 戦時中の暮らしと原爆体験 -	橋田 悟（環境教育サポート部会）
4	エネルギー・省エネ活動	矢野 修（環境教育サポート部会）
5	交通双六でひも解く交通問題	松村 暢彦（公共交通部会、大阪大学） 他 公共交通部会メンバー
6	環境問題と市民活動	田中 晃（環境教育サポート部会）
7	環境とデザイン	谷口 興紀（環境教育サポート部会、大阪産業大学）
8	風呂敷でエコライフを！	沼本 啓子（環境教育サポート部会）
9	自転車から見える環境問題と解決策	鎌田 徹（公共交通部会） 河上 勲（枚方ICサイクル）
10	「環境革命」の時代	宮永 昌男（環境教育サポート部会、龍谷大学）
11	ふくろうを通してみた枚方の里山	稲森 郁子（環境教育サポート部会、尊延寺の自然を守る会）
12	環境、ケンチク、ひと	加藤 純（まちづくり部会、一級建築士事務所作人）
13	水処理・きき水調査・枚方市の下水について	北村 義博（水道局浄水管理室） 辻本 雅一（同水道総務課） 赤岩 吉一（下水道部下水道総務課） 友田 成彦（同）
14	生活排水学習	神田 和幸（環境保全部環境公害課） 宮岡 絵美（同）

第2弾(史跡編)
第3弾(お店編)

「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント パート2 バスからまちを見直し、よくする活動を

バスの利便性の高さへの気づきを

公共交通部会では11月12日、国土交通省近畿運輸局や枚方市などの協力を得て、「くずは・男山バスタウンマップ」第2弾史跡編、第3弾お店編の完成記念イベント「バスのって ゲームラリー」を開催しました。このイベントは地域の魅力を再発見し、バスの使い方や利便性の高さに気づいてもらうことを目的として、小学生からお年寄りまで幅広い年齢の方々、126名に参加していただきました。



スタンプポイントは「公園・史跡」と「おすすめの店」

今回で2回目となるスタンプラリーは、平成17年12月の住民アンケートでおすすめの店として紹介していただいたお店と、前回紹介しきれなかった公園・史跡をポイントに設定しました。それ

らをバスで回り、スタンプを集めたりクイズに答えたりしながらスタンプシートを完成させてもらいました。様々な参加賞(割引券や商品等)を用意して下さったお店もあり、地域の貴重な財産である魅力的なお店とバスとの結びつきを自然と知ることができました。

子どもにとってバスは社会のルールを学ぶ場

大人1人につき同伴の小学生以下2人までが無料になる大阪府「バスエコファミリーキャンペーン」期間中のため、京阪バスがゲーム範囲内有効の1日乗車券も同様の扱いにしてくださり、親子連れの参加者で賑わいました。また、大阪大学大学院の松村暢彦助教授による“子どもたちにとってバスは社会のルールを学ぶ場でもある”というバスを再認識する講演もあわせて実施しました。

参加者の声：「近くに住んでいても知らない史跡やお店など新しい発見があって楽しかった」、「またバスに乗ってみたいと思った」

これらを受けて、公共交通部会では引き続き、バスからまちを見直し、まちをよくする活動を市民の目線で行っていきたいと思います。

第2回理事会開催

規則改定及び規程・顧問など承認

11月10日、第2回理事会をサブリ村野の会議室で開催しました。

理事・事務局長の辞任と新事務局長就任を承認

午前10時に開会、理事総数16名中出席者数16名(本人出席12名、議決権行使書出席1名、委任状出席3名)により、定足数を満たしていることが確認され、理事会が成立しました。

議長には谷崎利男理事長を選出し、議長の進行により議案の審議に入りました。

第1号議案「規程承認の件」、第2号議案「規則改定の件」、第3号議案「運営委員任命の件」、第4号議案「顧問の承認に関する件」、第5号議

案「理事等の辞任に関する件」、第6号

議案「事務局職員配置等承認の件」、第7号議案「事務局職員賞与基礎支給率承認の件」、すべての案件が原案どおりに承認可決されました。

新規プロジェクトチーム発足を報告

また、5部会から活動内容、今後の主要イベントの変更点、新規プロジェクトチーム(PT)として地産地消PTの発足について報告されました。

なお、議事録をホームページにアップしていただきますのでご覧ください。



●各部会の活動

自然環境部会



想いはひとつ「自然環境の保全推進のために！」

皆さんは「自然環境部会」と聞いてどのような活動を想像されますか？

ネットワーク会議が発足して間なしに、みんなで「自然環境部会」として取り組みたいこと、関心事について出し合ったところ、「東部の里山や市内の緑地保全」、「天の川や船橋川等市内の河川の清流化」、「自然が大事ということの体験の場作り」、「環境関連の制度についての学習」等々、実にさまざまなことが挙げられました。一言で「自然環境」といっても関心事はこのように多様で、それ故どんなことに取り組んでいけばよいのか絞り込むのは大変難しいことです。

それでも、みんなの想いはひとつ、「自然環境の保全推進のために何かしなければ！何かしたい！」。その想いのもと、出来る事から取り組んでいます。

ごみ・エネルギー部会



市民共同発電所「ひらかた・おひさま発電所」設置を目指して

ひらかた自然エネルギー学校(RESH)2006 運営 WG：本年度講座も第6回(1/13)、第7回(2/3)を残すのみとなりました。市内の団体・個人の方々からのご協賛と、各分野で高名な講師の方々のご協力を得て受講生と共に充実した講座を続けています。第6回は「バイオマス利用」、第7回(最終回)は「自然エネルギーと住まい方・住宅」および受講生による「自然エネルギー普及への思い(グループ発表)」等を予定。また運営スタッフ中心に「市民共同発電所プロジェクト：ひらかた・おひさま発電所」の設置計画も鋭意推進中です。

生ごみ資源化 WG：「地産地消費プロジェクト：自然農法による食の市内循環型構築」で“生ごみのたい肥化”を担当。自然農法に供するたい肥の一つとして、枚方市減量業務室にご協力いただき、市内小学校単独調理場での生ごみたい肥化装置の運転状況、処理物の利用等を調査・検討しています。

雨水モニター WG：府事業「おおさかレインボウふるじえくと！」の雨水モニターとして雨水利用の普及活動をしています。その一つ「あまみず環境学習センター」は、関西雨水市民の会から会長、副会長をお招きし、RESH 2006 第5回講座「雨水利用」を実施。また年間を通じ、グリーンハウス福祉事業所(サリ村野)の花壇の散水および液肥希釈用に雨水を利用。雨水タンクなど設備設置に関する情報提供の準備も進めています。

公共交通部会



くずは・男山バスタウンマップ 第4弾は「福祉施設編」



レンタサイクル：11月14日から1年間にわたる「牧野駅レンタサイクル試行」をスタートさせました。枚方市、シルバー人材センター、京阪電鉄、枚方エコサイクル、ネットワーク会議などで「ひらリン導入検討会」を構成して実施しています。



くずは・男山バスタウンマップ：11月に「史跡編」及び「お店編」を作成し、お披露目イベントとして、11月12日に「バスのってゲームラリー」を126名の参加を得て行いました。さらに、第4弾「福祉施設編」に向けて作業を進めています。

まちづくり部会

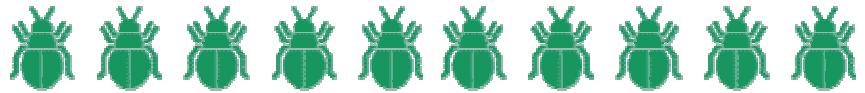


「枚方のまちを知る」香里団地をタウンウォッチング

フィールドワーク：11月25日（土）午後、久しぶりのフィールドワークとして、枚方の街を知るためのタウンウォッチングを実施しました。光善寺駅をスタートし、サダ神社と鎮守の森、森を抜けると突然現れる幅16mの都計道路が100m、そして丘陵の雑木林。二つの公園を経て香里団地へ。特別に参加していただいた元住宅都市整備公団の小西氏から団地の過去現在未来を話していただき、以楽公園、けやき通り、こもれび水路を見て歩きました。枚方市もまだまだ、緑・自然が残っています。残したい緑・自然、守り育てたい緑・自然について考えさせられる意義深いフィールドワークでした。

次回は、フィールドワーク最終回として、3月中旬に東部地域をウォッチングする予定です。決まり次第ご案内いたします。奮ってご参加ください。

環境教育サポート部会



好評！長尾小学校での環境出前授業

長尾小学校では平成17年度から環境出前授業を受け入れていただき、初年度は6年生4クラス計8時限、平成18年度は4～6年生12クラス計24時限の授業を行い、市内の学校で最多の実績を挙げることができました。授業内容・実施日時は、事前に学校の先生と打ちあわせを行い決めています。実施した内容は、「エネルギーを作ろう」、「上着の話」、「風呂敷」、「酸性雨の実験」等で、発電用自転車、手作りの各種実験装置等を教室に持ち込んで部会員が講師となり講義や実験等の授業を行いました。毎回数名の地元サポータの協力を得て、昼食は児童と一緒に教室で給食をいただきながら楽しくやっています。先生、児童の評価は概ね好評でした。



運営委員会



安全な地場野菜で地産地消の循環型社会の達成を

中国野菜の残留農薬が問題となり、食の安全が叫ばれるようになりました。枚方では穂谷地区を中心として地場産の米や野菜が生産販売されています。また、多くの市民が家庭菜園を楽しんでいます。しかし、完全無農薬栽培は難しく減農薬栽培が現実です。

運営委員会の「枚方地産地消プロジェクトチーム」は、完全無農薬栽培の実践的研究により枚



方に無農薬栽培技術を普及し、市民が安全な地場野菜を地場で入手できるようになればと志しています。更に生ごみをたい肥化し活用できれば、枚方内で地産地消の循環型社会が達成できます。すでに、白菜や大根、かぶら、ほうれん草、小松菜などの無農薬生産販売が始まっています。無農薬栽培に興味のある方、無農薬野菜を入手したい方、生ごみのたい肥化など循環型社会の構築に興味のある方の参加をお待ちしています。



まちづくり部会のフィールドワークを
環境教育サポート部会員がレポートしました。



(環境教育サポート部会員
橋田、沼本、小篠)

香里団地周辺をタウンウォッチング
まちづくり部会が平成18年11月25日に実施したフィールドワーク「ひらかたのまちと緑をみる」に参加してきました。ケヤキや南京はげの色付く街を歩く、楽しいタウンウォッチングになりました。**次世代のことを考えたまちづくりとは**
京阪光善寺駅に集合し、サダ神社、香里団地をコースとして、途中、淀見公園等で元住宅都市整備公団(現都市再生機構)の方のお話を聞きながらの道のりとなりました。そのお話の中で見せていただいた香里団地開発当時の写真からは、当時のまちづくりの大変さが感じられ、次世代のことを考えたまちづくりの大切さを改めて考えさせられました。香里団地は元々の地形を残して開発したとのことで、歩いていてまず坂のきつさを感じました。そして公園が多いこと。一つひとつの公園はどれも違う顔をもっていて、憩いの場としてそれぞれの役目をしているようでした。**環境活動のいろいろと更なるネットワークの必要性を再確認**
知っているようで知らない近所を再発見し、よりよいまちづくりを目指している、まちづくり部会の活動をレポートして、いろいろな環境活動があることを再確認すると共に、枚方のまちをもっとよくしていくには、更なるネットワークが必要であると感じました。



ひらかたエコフォーラム2007

～地縁コミュニティとテーマコミュニティの連携～

平成19年
2月3日(土) 午前10時～午後4時
会場：メセナひらかた



駐車場がありませんので車でのご来場はご遠慮下さい。

午前の部

環境表彰
学校版環境表彰・こどもエコクラブの表彰
及び発表

午後の部

基調講演
「地域環境保全へのコミュニティの役割」
パネルディスカッション
「地域コミュニティにおける環境保全活動」
ネットワーク会議活動状況紹介等

終日

パネル展示
学校園・里山保全・グリーンコンシューマーの取組み紹介
ブース展示
市民活動団体・企業等の環境活動紹介

同時開催

午前10時～午後12時
ひらかた環境くらわんか塾第8回講座
午後1時30分～午後4時30分
第2期ひらかた自然エネルギー学校第7回講座

主催：特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市、枚方市教育委員会、環境省きんき環境館

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

事務局の仕事をお手伝いして

いただける方を募集します！

事務局では、ネットワーク会議のHP更新作業や、3ヶ月に1回の会報誌発行作業等をお手伝いしていただける方を募集しています。作業内容は「PC操作」から「印刷」、「封筒入れ」、「宛名ラベル貼り」まで可能な範囲でお願いします。お申込・お問合せ等、詳細は事務局までご連絡下さい。

*** **

作業時期：HP更新作業・・・随時

会報発行作業・・・3ヶ月に1回

(作業内容により要日数や作業日が異なります。)

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民(個人、団体、サークル、NPO)、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「ひらかたNPOフェスタ 2006」 に参加しました。

10月22日にサプリ村野で開催された「NPOフェスタ 2006」に参加しました。ネットワーク会議は、ピオト



プ前のテントで焼き鳥と、現在、運営委員会が穂谷区で進めている地産地消プロジェクトの一環として自然農法で栽培した大根、えだ豆を販売しました。

また野外ステージでは、昨年6月のライトダウンキャンペーンで募集した「ライトダウン川



柳」のうち優秀作品4点を、ネットワーク会議会員によるショートコントで発表しました。

このフェスタを通じて、他のNPOの方々との交流も深まり、多くの学びを得るとともに、今後の活動につながる有意義なものとなりました。

** 枚方のレンタサイクル「ひらリン」 **

貸し自転車「ひらリン」によってエコサイクル



枚方市内の各駅で自転車を借りることが出来たら便利ですね！まずは初めの第一歩、牧野でレンタサイクル「ひらリン」の試行を開始しています。貸出自転車は、枚方エコサイクルが資源再生の視点で、放置自転車をリサイクルしたものを使用しています。

ひらリン導入検討会

<運営>NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

<協力>枚方市、(社)枚方市SPA-人材センター、京阪電気鉄道(株)、枚方エコサイクル、北河内連合市民懇話会

試行期間：平成18年11月14日
～平成19年11月13日(年中無休)
貸出返却時間帯：午前6時～午後9時
貸出返却場所：市立牧野東自転車駐車場
料金：1回200円(翌朝10時まで)
貸出自転車：20インチ～26インチ
利用資格：安全に自転車の走行が可能で、本人である証明ができる方

月々2,000円でお得な定期利用も申込み受付中！

定期利用のお申込みは事務局までお電話下さい(先着10名様)。

会員数 189名：正会員 157名(個人129、非営利団体19、営利団体9)

賛助会員 32名(個人31、非営利団体0、営利団体1)

平成19年1月1日現在

団体紹介 コーナー

NPO法人



「エコ・スマイルひらかた」
村野工房の皆さん

理事長：吉田 忠雄

所在地：枚方市村野西町 5-1 サプリ村野内

電話 & Fax：072-805-0103

EM等たい肥化連絡会として発足：2000年 9月

エコ・スマイルひらかたに改称：2002年 11月

NPO法人認証取得：2003年 4月

「EMほかしによる生ごみたい肥化」を通じて「枚方市ごみ減量化推進」に貢献

焼却ごみ減量・環境浄化推進を支援

「エコ・スマイルひらかた」は、家庭から出る生ごみを有用微生物群（EM）等を活用して醗酵させ、土に還し（たい肥化）、「焼却ごみを減量・環境浄化を推進」する市民の方々を支援する活動をしています。生ごみをたい肥化しようとされる方、化学肥料や農薬をあまり使いたくない方々は、誰でもが自由に利用できる団体です。昨今、家庭菜園やベランダ園芸が盛んになり、多くの方々が競い合って取り組んでおられます。しかし、大半の方々は安易に化学肥料や農薬を購入し、その功罪についての知識に乏しいまま必要以上に撒布され、これらは雨水と共に流出して河川の水質悪化や環境汚染の一因となっています。エコ・スマイルひらかたは、化学肥料や農薬の使用を少なくする為に、醗酵肥料や害虫忌避剤の製造等の指導も致しております。

市民の皆さん、お気軽にご利用下さい。

～環境問題と食の安全の願い～

“ごみ処理は無料”と考える人に自己負担でごみを処理し市政方針のごみ減量に貢献するという意識を持ってもらうこと、「無農薬・有機栽培野菜が食の安全と環境を守ること」など、こうした使命感や意識が広まることを願いながら活動してきました。社会一般にもそうした情報が広まり、おかげで我々の活動にも理解と協力をいただける方が増えています。環境問題と食の安全の解決に向かって頑張りたいと思います。

理事長 吉田 忠雄

環境ネットワーク会議への参加

枚方市の「食の市内循環：地産地消システム」の構築に関して、生ごみたい肥化の分野で協力しています。EMを活用したたい肥づくりなど、環境にやさしい有機栽培の拡大に向けてノウハウを提供します。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年の干支は猪年ですね。丁亥（ひのとい）猪突猛進、走り出したら止まらない等々といわれるように、十二支の中で猪年は、人間社会にとって強気な社会が予感される年であります。しかし、そんな年であるからこそ一歩立ち止まって考えるということも大事だと考えます。今年も環境問題にはじっくりと取り組んでいきたいものですね。最後になりましたが、今年も会員の皆様と楽しく環境保全活動が出来るように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。（小篠 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第12号

平成19年1月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：廣田 武司



古紙比率100%再生紙を使用しています
白色版はリサイクルです

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。